

化学関係部会

期 日 平成30年12月14日(金)

場 所 山形県立酒田光陵高等学校

参加者	酒田光陵高校	校長	鈴木 和仁
	米沢工業高校	教諭	會田 浩昭
	山形工業高校	教諭	堀 彰太
	鶴岡工業高校	教諭	横沢 淳
	酒田光陵高校	教諭	伊藤 造
		教諭	高橋 裕
		講師	難波 志穂里

1, 部会内容

1) 工場見学

株式会社 金龍を見学した。焼酎の製造で県内外に知られる金龍は今年「遊佐町の豊富で質の高い水で造るスコッチウイスキーの製造」に着手した。社長と醸造にかかわる社員たちのロマンあふれる意気込みに感動し、共感した。大変興味深い企業見学であった。

2) 各校の現状と課題

化学関係学科の充実を図るため、何をどう構築していけばよいか、各校の現状を出しながら協議を行った。現在は単独で化学のクラスを持つ学校はほとんどない。そんな現状の中「カリキュラム」「実習内容」「校外に対してのアピール」の充実が課題である。

3) ものづくりコンテスト「化学分析部門」

ものづくりコンテストの審査・採点基準の適正なあり方が問題となった。東北大会や全国大会の基準を検討した上で、上位大会で勝ち抜けるための本県の基準のあり方を考え実施していく。

4) 技能検定「化学分析」

今年度から始まった「化学分析三級技能検定」について、さまざまな情報を確認した。山形工業高校の阿部英敏先生が、実際に指導・受験した結果をレポートにまとめてくれ、それをもとに来年度の試験に向けての指導のあり方を確認した。

2, 雑感

今回の化学部会では、毎年恒例となった懇親会を行った。会の中で「これからの工業化学教育のあり方」や「生徒たちにどうやって力をつけさせていくのか」等々、いろいろな話ができ、参加された先生方全員楽しく有意義な時間を過ごすことができた。年に1回は、県内の先生方と本当の気持ちを話し共有する機会は重要だと実感した。